

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		令和4年第11回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		令和4年11月11日（金）		場 所	教育長室		
会 議 時 間		（開会）午前10時30分～（閉会）午前11時05分					
休 憩 時 間		①（休憩）午前・午後 時 分～（再開）午前・午後 時 分 ②（休憩）午前・午後 時 分～（再開）午前・午後 時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	出席
		委員	勝木 克子	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	教育次長 林 政憲		出席	教育次長(社会教育担当) 横山 昭博		出席	
	シニアマネージャー 中田 一宏		出席	教育庶務課長 東谷 勝美		出席	
	次長兼学校教育課長 岩脇 司		出席	教育研究センター所長 表 久美子		出席	
	生涯学習課長兼未来型図書館づくり推進チーム課長 坂下 義規		出席	図書館長兼南部図書館長 梶谷 外希子		出席	
	ひととものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席	市立高校事務長 出口 真澄		出席	
書記	教育庶務課主幹 北野 芽未		出席				
傍 聴 者		0 名					
会議に付した議題	【議案】						
	・議案第20号 令和4年度小松市社会教育賞について（生涯学習課）						
	・議案第21号 令和4年度小松市スマイルハート賞について（生涯学習課）						
	【報告事項等】						
	・地域理解講座を終えて（教育研究センター）						
	・令和5年小松市成人式～二十歳のつどい～について（生涯学習課）						
	・第3回小松市未来型図書館基本構想策定委員会の開催状況について（生涯学習課）						
	・ひととものづくり科学館10月報告について（ひととものづくり科学館）						

教 育 委 員 会 報 告

令和4年11月11日

【議案】

件 名	議案第20号 令和4年度小松市社会教育賞について
所管部課名	生涯学習課
内 容	選考委員会で選考された個人3名は次のとおり。 北川 浩（青少年健全育成に貢献）、木村 美知子（伝統文化の振興に貢献）、杉本 信夫（ふるさと教育の推進に貢献）
教育委員等の意見	特になし
	議案第20号 承認

件 名	議案第21号 令和4年度小松市スマイルハート賞について
所管部課名	生涯学習課
内 容	選考委員会で選考された2団体は次のとおり。 小松市立安宅中学校生徒会（奉仕活動、社会貢献）、小松市立中海中学校生徒会（自主活動の継続、社会貢献）
教育委員等の意見	特になし
	議案第21号 承認

【報告事項等】

件 名	地域理解講座を終えて
所管部課名	教育研究センター
内 容	初任者研修として「小松の歴史や文化のよさを子どもたちに語れる先生に」というテーマのもと、フィールドワーク形式で開催。
教育委員等の意見	特になし

件 名	令和5年小松市成人式～二十歳のつどい～について
-----	-------------------------

所管部課名	生涯学習課
内 容	今年度の成人式は令和5年1月8日に開催。小松市は20歳を対象とする。今年度は1部制とする。14名の成人式実行委員に当日の運営等に協力いただく。
教育委員等の意見	特になし

件 名	第3回小松市未来型図書館基本構想策定委員会の開催状況について
所管部課名	生涯学習課
内 容	未来型図書館基本構想の策定にあたり、第3回策定委員会を10月25日に開催した。議論の主な内容は、①未来型図書館のビジョン・コンセプト案と機能検討について②今後のスケジュールについてである。第4回策定委員会は12月上旬に開催予定。
教育委員等の意見	【吉原委員】 市民の意見をかなり取り入れているが、行政・経済界の意見は入っているか。 長浜市は行政が主導し、駅前に施設を集中している。小松市では施設がいろいろなところにちらばるのではないかと心配している。 【中惣委員】 まわりで未来型図書館の話題にならない。策定委員会の会議等の公開やテレビなどで発信する予定はあるか。文字だけではなかなか伝わらない。熱量を感じるようなアピールをしてほしい。 【北村委員】 場所は大事である。市の大きなビジョン・全体のグランドデザインを取り入れて決めてほしい。 【勝木委員】 市が場所等を決定する前の段階でいろいろな方からアンケートなどで意見を伺い、要望を把握したうえで市として決定し、市民が自分達も参加したという印象を受ける形で進めたほうがよい。
回 答	【横山教育次長】 策定委員会の委員に商工会議所青年部の会長が入っている。市民ワークショップに参加されている方達は職種が広く、企業の方もいる。 今年度に立地候補エリアを決める。具体的な敷地の調査や条件の整備は時間をかけて議論する必要がある。 【坂下生涯学習課長】 策定委員会の情報についてはホームページで公開している。これからどうしていくか考えたい。

件 名	ひととものづくり科学館 10 月報告について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内 容	4 月～10 月までの来館者数は 80,409 人。コロナ禍（平成 31 年）より 5,300 人程増加している。
教育委員等の意見	特になし

【その他】

件 名	次回教育委員会会議日程について
内 容	日時：令和 4 年 11 月 29 日（火）午前 10 時 30 分 場所：小松市役所 6 階 教育長室

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	特になし
中惣委員	御幸中学校の計画訪問の際に市立高校の学校案内ポスターを見た。デザインがすばらしく、ひときわ目立っていた。特に芸術コースのポスターはよく考えられているなど感心した。
勝木委員	小松市民茶会の煎茶の方に初めて参加したが、丁寧に作法を教えていただいた。待ち時間には近隣の美術館 3 館に無料で入ることもでき、とても文化的な時間を過ごすことができた。
北村委員	全国学力調査について、事前に過去問を解くなど点数を上げるための対策をしていると報道で批判されている。点数をただ上げるためではなく、過去問を通して自分が学んだところを見直すことが大切。子供達には問題点・改善点を再検討して、将来のために学んでいただきたい。 【石黒教育長】 学校の順位や地区の順位を決めることが目的ではなく、子供達の知識理論や資質能力をいかに上げていくかが大事であり、教員の技能を上げることが目的である。過去問を強制的にやらせることはなく、先生方には自然体で指導力を上げるように言っている。ただ、日頃の授業の中で子供達に個別に過去に出た問題を示して、力がついているか確認することは必要である。力をつけるために過去問を活用することはご理解いただきたい。